|  |  |
| --- | --- |
| **06**（月） | をいた |
|  | **使11章19～30節**　さて、ステパノのことからこったによりらされたは、フェニキア、キプロス、アンティオキアまでんでったが、ユダヤのには、だれにもみことばをらなかった。(19) |
|  | Remnantはがえてくださるりのをりましょう。すると24になります。そのとき、さいのでものえとをつけて、のにのやぐらをてるようになります。はそのようなをして、にがともにおられることをわされました。それなら、Remnantはどんなやぐらをてるのでしょうか。１つ、をえるやぐらをてましょう。ステパノはのでもをしました。ステパノのは、をえるやぐらになって、のがかれました。ステパノのにいたパウロがキリストにってにわりました。２つ、わざわいをめるやぐらをてましょう。キリストのやぐらをてなかったイスラエルとローマにわざわいとびがみました。また、がみじめなわざわいにいるようになりました。Remnantはこれをめるやぐらをてましょう。３つ、をかすやぐらをてましょう。パウロはにってになぜイエス・キリストでなければならないのかをえました。そして、をわうりとのをえました。Remnantは、とりのさとをって、そのをしましょう。そのとき、すべてがします。 |
|  | 、がわれるやぐらをののやぐらとしてててください。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.05.05.1部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **07**（火） | のにった |
|  | **使13章1～5節**　らがをし、していると、が「さあ、わたしのためにバルナバとサウロをして、わたしがしたきにかせなさい」とわれた。(2) |
|  | Remnantはとにりでがえられたエネルギーをつけましょう。すると、にえをすることができます。Remnantがりのえをけるためにするつのがあります。１つに、まりのです。どこにっても、りでがえられたと、ことをつけましょう。(使13:1～5)そして、をきましょう。(使13:5～12)に、をえるをつけましょう。(使14:14～20)２つ、ターニングポイントのです。でがふさがるがあります。このとき、あきらめたり、ほかのところにってはいけません。がいてくださるのをってわうとき、よりいきをけます。３つ、のです。パウロはで、なぜキリストでなければならないのかをしました。(使171～9)ここでヤソンがてて、きながばれました。パウロは、ごとにとりをえました。(使18:4)そして、のえは、のとのであることをしました。(使19:8)はこのをっているRemnantをして、わざわいをめてくださるでしょう。りでつのをわいましょう。 |
|  | 、がえてくださるをけるがまりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.05.05.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **08**（水） | ののき |
|  | **マタ28:16～20**　ですから、あなたがたはって、あらゆるのをとしなさい。、、のにおいてらにバプテスマをけ、わたしがあなたがたにじておいた、すべてのことをるようにえなさい。よ。わたしはのわりまで、いつもあなたがたとともにいます。(19-20) |
|  | Remnantにとってのは、のがにかれることです。このをけたRemnantが、ってわうことがあります。１つに、のは、つのきをしておられます。いのきをしげて、みことばをしておられます。また、たちのりにえてくださっています。２つ、10のをえて、わいましょう。Remnantのすべてはののにあります。のはキリストです。のはで、のはのみことばです。Remnantはのなのでびることがなく、Remnantがくがです。がたちのすべてのをっておられます。３つ、はRemnantを、にTCKを、できることができるようにってっておられます。だれもけてくれなくても、がえてくださるをってすべてのをかすえをけるでしょう。Remnantはののにあるのをみ、だまされないようにしましょう。ほかのはののきをらずにいます。このをらせて、それをらないようにさせるのからがいされるのをましょう。 |
|  | 、のにをらすレムナントになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.05.11.レムナント伝道学 |

|  |  |
| --- | --- |
| **09**（木） | のにつにえないやぐら |
|  | **使1章1、3、8節、ピリ3章1～21節**　しかし、があなたがたのにむとき、あなたがたはをけます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの、さらにのてまで、わたしのとなります。(使1:8) |
|  | はRemnantをしてがかされるとわれました。のRemnantは、がえられたをってをしました。Remnantはこのをすればよいのです。１つ、キリストは、すべてをするです。サタンのをちいたの、イスラエルをからさせたのいけにえ、インマヌエル、のであるイエス・キリストをわいましょう。そのとき、ののがRemnantにいて、サミットになります。２つ、のをりましょう。すべてのをわらせて、のみことばがされたカルバリののの、そして、のをえたオリーブの、のがんだマルコのののがのです。３つ、はできるをRemnantにえてくださいました。パウロはをねてって、にキリストとり、のをえました。のをえてもらったRemnantが、らされたになりました。らは、イスラエルがびたにもをかしました。Remnantがこのつのをするとき、にえないやぐらがてられるでしょう。 |
|  | 、のをすRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.01.16.世界青少年修練会1講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **10**（金） | のやぐら()をてるり |
|  | **使1章3節、ピリ3章1～21節**　イエスはしみをけた、くのかなをもって、ごがきていることをたちにされた。にわたってらにれ、ののことをられた。(使1:3) |
|  | Remnantはのやぐらをてるりです。サミットやぐらをてるとき、ののがうでてるのではありません。Remnantはどのようにやぐらをてるのでしょうか。１つ、がをかされるのをるので、サミットになるサミットタイムをちましょう。サミットになるということは、りのやぐらをてて、なになるということです。のRemnantはいからサミットタイムをちました。２つ、Remnantはずえけるために、サミットのをえましょう。やぐらと、しるべをけてりでわって、のをによってしてもらいましょう。これがをおろしてになるとき、えがまります。３つ、サミットをえましょう。サミットは、がとたちと、すべてのこととともにおられることをえることです。すると、するにのにって、わずにちます。のにのとがりつので、のえとはなくなります。いまはにやぐらをてるようにりましょう。237かに、まだをくことができない５がいます。らにがのをえられ、やされ、サミットとされるのをるえをけるでしょう。 |
|  | 、がにったをいされるやぐらをにてることができますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン世界青少年修練会2講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **11**（土） | をかすのやぐら |
|  | **ピリ3章1～21節**　しかし、たちのはにあります。そこからイエス・キリストがいとしてられるのを、たちはちんでいます。(20) |
|  | Remnantはをかすりです。それゆえ、のやぐらをRemnantのにてましょう。すると、なになってがついてるようになります。１つ、のをりましょう。Remnantにがえてくださったがむようにりけていれば、がえられたをむようになります。そして、のきにれたパウロのしるべがのしるべになります。２つ、のをりましょう。ヨセフはポティファルのにとしてきました。そこで、がになるようにされ、をするようにされました。ののとがえられるをってすればよいのです。するとのとタラント、ミッションがえられて、のとタラント、ミッションがてます。３つ、のをします。のは、がらない、からえられるのことです。ほかのではなく、ができるということです。そこからのがてきます。このように、えをければ、っていてもはついてるようになります。これからのは、がRemnantをしてかされます。がえてくださったをRemnantのにやぐらとしててるりをめましょう。 |
|  | 、をかすやぐらをするRemnantになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン2024.01.16.世界青少年修練会3講 |